

□ 要請番号 (JL02717B17)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ベトナム	H114 理学療法士		個別	新規	2年	・ 2018/1 ・ 2018/2



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

ハノイ市人民委員会

2) 配属機関名 (日本語)

ハノイリハビリテーション病院

3) 任地 (ハノイ市) JICA事務所の所在地 (ハノイ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

1991年に障害児施設として設立した平和村を前身とし、2011年に診療部門が増設されリハビリテーション病院に変更された。障害児・者の自立支援や教育を行う平和村(第一科)と総合診療科、内科、小児科、高齢者科、東洋医学科など全10科からなる専門病院である。医師26名、看護師及び准医師76名、技師26名、総職員約150名が在籍し、病床数150床、年間外来患者延約11,400名、入院患者約40,800名である。日本の団体から織物の支援等、組織や個人からの寄付寄贈はあるものの、技術面での協力はこれまでない。配属する科は、成人リハビリを担当する内科と60歳以上の患者を担当する高齢者科である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

院長を初め医師陣は、リハビリ専門病院として、回復期における小児から高齢者まで全ての患者に対して、適切なリハビリテーションの提供が可能になることを目指している。障害児施設を前身としているため、小児リハビリについてはある程度発展しているが、成人の理学療法や作業療法は、年々需要が高まってきているものの技術が定着していない。市内の医科大学等から月1回程度、講師を招くこともあるが、新しい知識を実用することは難しく、現状を改善することは容易ではない。青年海外協力隊(JV)には、系統立った正しい知識・技術の普及とその定着を図ることが期待されている。特に理論に基づく評価と、その結果に応じた練習プログラムの作成、再評価というサイクルの定着が期待されている。回復期病院であるが、患者の多くは早期にリハビリを開始できておらず、廃用症候群などの二次的障害を来してリハビリを開始している。2018年8月までの短期JVも募集中である。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の一員として以下の活動を実施する。

- 1.主に脳血管障害や脊髄損傷、整形疾患患者へのリハビリについて同僚へ助言指導する。
- 2.評価に基づいた理学療法プログラム作成など、正しい評価の導入と定着を推進する。
- 3.語学力が向上した後、リハ科スタッフへ理学療法基礎について勉強会等を実施する。
- 4.リハビリテーション室の環境整備や、機材購入について助言する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

リハビリテーション室、作業療法・運動療法室、電気刺激治療器、超音波治療器、エアロバイク、歩行練習用階段、昇降式平行棒、電動ウォーカー、バランスボール、車椅子、肋木

4) 配属先同僚及び活動対象者

院長(医師/男性/50代/院長兼ハノイ医科大学准教授/博士/経験30年)
高齢者科C/P2名(技師/男性1名・女性1名/20代/専門卒/経験4-5年)
内科C/P3名(技師/男性2名・女性1名/大卒1名・専門卒2名/経験5-10年)

対象患者:回復期成人・高齢者の脳血管障害・脊髄損傷・整形疾患患者

5) 活動使用言語

ベトナム語

6) 生活使用言語

ベトナム語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(理学療法士)

[学歴]：(大卒) 備考：医師を含む同僚へ指導するため

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 5年以上 備考：応用力が必要なため

[参考情報]：

- ・同僚や新人への指導経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(温暖冬季少雨気候) 気温：(10～35℃位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水道]：(安定)

【特記事項】

坐骨神経痛や椎間板ヘルニア、関節リウマチ、脊柱側弯症、脊椎炎、筋ジストロフィー等の患者に対しても可能な範囲でリハビリを実施し、同僚へ指導を行う。